

# 平成20年度事業がスタート

平成20年度予算が市議会3月定例会で可決成立しましたので、その概要をお知らせします。  
問合せ 財政課

平成20年度の一般会計予算は201億9,300万円、前年度に比べて10.6%の減少となりました。大規模事業（新庁舎建設事業・拜島駅自由通路整備事業・福生病院組合建設費負担金を除いた比較では、0.1%の減額となっています。

特別会計予算は120億1,768万2千円で、前年度に比べて11.6%の減少となり、一般会計と特別会計を合計した当初予算額は322億1,068万2千円で、前年度に比べて11.0%の減少となりました。

## 一般会計

前年度と比較すると、歳出ではおもに新庁舎建設事業による総務費の減少をはじめ土木費等が減少する一方、福生病院建設費負担金の増加等により衛生費が増加し、また再編交付金を基金に積立するため諸支出金が増加しています。歳入ではおもに新庁舎建設事業の国庫補助金及び基金繰入金等が減少しています。

### 【歳入】

市税0.4%減  
前年度に比べ3,216万4千円の減額となりまし

た。市民税、たばこ税が減少しました。

地方特例交付金60.4%増  
税源移譲によって、住宅

借入金控除の一部を住民税からも控除することになり、その補てん分が特例交付金に追加されたため、大幅な増加となりました。

地方交付税1.4%減  
すべての自治体が一定水準の行政サービスを行える

よう国が交付するもので、3,100万円の減額となっています。

国庫支出金8.2%減  
新庁舎建設事業補助金や

拜島駅自由通路整備事業に伴う道路交通環境改善促進事業補助金等の減少により、2億6,315万5千円の減額となりました。

都支出金2.9%増  
市町村総合交付金等の増

加により、6,749万7千円の増額となりました。

繰入金79.9%減  
基金の取崩しや特別会

計からの収入で、都市施設整備基金から1億9,000万円、学校施設等整備基金から6,100万円、庁舎建設基金から5,329万9千円、市営住宅等管理基金から4,946万4千円、また新たに設置された再編交付金事業基金から3,400万円を繰り入れます。

市債68.7%減  
市が施設建設や用地買収

等、大規模事業を行なうために借り入れる資金で、新庁舎建設事業債、拜島駅自由通路整備事業債が減額となっています。

また、赤字地方債である臨時財政対策債の借入れをしないことから、合計で5億800万円の減額となりました。

### 【歳出】

総務費50.3%減  
主に行政運営に必要な経

費ですが、今年度は新庁舎建設事業の減額等により22億5,702万7千円の減額となっています。

民生費1.9%増  
障害者・高齢者・児童福祉

等のための経費で、1億4,916万5千円の増額となっています。おもに後期高齢者医療特別会計繰出金や福生保育園空調設備改良事業などの増加によるものです。

衛生費4.8%増  
保健衛生や環境対策、ご

み処理等のための経費で、1億2,112万5千円の増額です。おもに福生病院組合負担金等の増加によるものです。

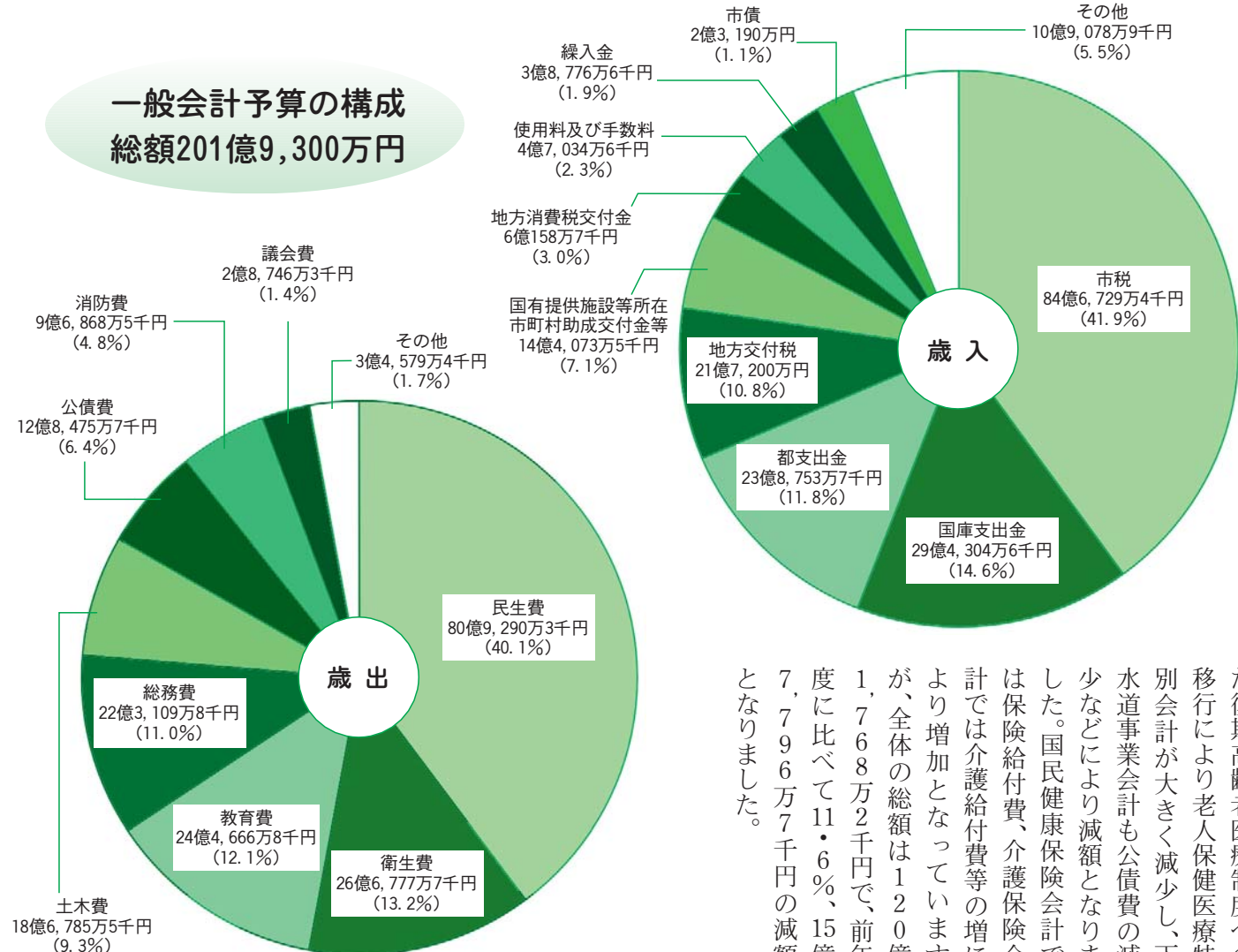
土木費17.2%減  
道路建設や公園整備等、ま

ちづくりのための経費で、3

億8,919万4千円の減額となっています。おもに拜島駅自由通路整備事業や下水道事業会計繰出金の減額などによるものです。

教育費5.9%減  
教育の充実や文化・スポ

ーツの振興のための経費で、1億5,414万7千円の減額となっています。おもに第二小学校防音機能復旧（復機）事業の完了等によ



表① 特別会計

区分	平成20年度当初予算額	平成19年度当初予算額	増減額	増減率
国民健康保険会計	61億1,730万4千円	55億9,358万5千円	5億2,371万9千円	9.4%
老人保健医療会計	4億626万円	30億1,882万6千円	△26億1,256万6千円	△86.5%
介護保険会計	27億6,165万4千円	26億4,377万2千円	1億1,788万2千円	4.5%
後期高齢者医療会計	7億4,689万5千円	—	7億4,689万5千円	皆増
下水道事業会計	16億1,022万4千円	18億7,263万円	△2億6,240万6千円	△14.0%
受託下水道事業会計	3億7,534万5千円	4億6,683万6千円	△9,149万1千円	△19.6%
合計	120億1,768万2千円	135億9,564万9千円	△15億7,796万7千円	△11.6%

表② 主な一部事務組合への負担金

区分	当初予算額
瑞穂斎場組合	5,465万9千円
福生病院組合	6億2,942万円
西多摩衛生組合	7億7,809万6千円
東京たま広域資源循環組合	1億3,690万2千円
合計	15億9,907万7千円

おもに防災行政無線施設改良事業の増加などによるものです。  
教育費5.9%減  
教育の充実や文化・スポーツの振興のための経費で、1億5,414万7千円の減額となっています。おもに第二小学校防音機能復旧（復機）事業の完了等により

## 特別会計

特別会計の予算は表①のとおりです。  
新たに後期高齢者医療特別会計が加りました。また後期高齢者医療制度への移行により老人保健医療特別会計が大きく減少し、下水道事業会計も公債費の減少などにより減額となりました。国民健康保険会計では保険給付費、介護保険会計では介護給付費等の増により増加となっていますが、全体の総額は120億1,768万2千円で、前年度に比べて11.6%、15億7,796万7千円の減額となりました。

主な一部事務組合への負担金  
複数の自治体で共通する事務を共同処理するために一部事務組合を設立しています。